

敷金返還（記載例）

（注）□欄は、該当事項にレ点を付すか、又は、■に反転させる。

請 求 の 趣 旨

- 1 被告は、原告に対し、次の金員を支払え。
 - 金 120,000 円
 - 上記金額に対する
 - 平成24年 5月 1日
 - 訴状送達の日から支払済みまで年 5パーセントの割合による金員
- 2 訴訟費用は、被告の負担とする。
- 3 この判決は、仮に執行することができる。

紛争の要点（請求の原因）

- 1 賃貸借契約の内容
原告は、被告との間で、次のとおり、賃貸借契約を締結し、引渡しを受けた。
 - 契約日 平成16年 4月 1日
 - 賃借物件
所在 千葉県市川市鬼高2-20-20
名称（アパート名等）及び棟室番号
ユーポ市川 101号
 - 賃料 金 60,000 円
 - 賃借期間 2年 □ 定めなし
 - 交付した敷金の額 金 120,000円
 - 敷金返還についての約定 建物の明け渡しの1か月後に返還する。
□ 定めなし
 - 2 賃貸借契約終了日 平成24年 3月 31日
 - 3 物件を明け渡した日 平成24年 3月 31日
 - 4 その他の事情
 - 敷金から控除を認める額 金 円
 - 返還された敷金の一部 金 円
 - 被告は、敷金をリフォーム費用に充当したので、返還すべき敷金はないと言って支払わない。
- 添 付 書 類**
- 賃貸借契約書
 - 重要事項説明書
 - 家賃入金関係書類
 -